

いのちに向き合う宗教者の会

第13回 「いのちの日 いのちの時間」 自死者追悼法要

2021（令和3）年12月9日（木）。超宗派の有志僧侶らで厳修！

今年も「いのちの日 いのちの時間 - 自死者追悼法要 -」を厳修いたしました。

自死・自殺によって亡くなられた方々を偲びつつ、すべての人びとが安穏なることを願い、東海近県の禅宗・浄土真宗・真言宗などの僧侶23名が集まり厳修いたしました。

このたびの法要は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、昨年引き続きご遺族などの参詣はご遠慮いただき、予めご案内していた希望者に法要の様子を配信し、それぞれの場所と一緒に参拝いただきました。

今回で13回目となる法要では、ご詠歌の調べから配信され、当会代表の根本紹徹の挨拶、続いて坐禅を行い法要に向けて心と身体の準備を整えました。



根本紹徹が会を代表して挨拶しました



坐禅で呼吸と姿勢を整え、法要に向けての準備をしました

その後、禅宗の僧侶によるご詠歌が響く中、各宗派の僧侶が出仕。導師が阿弥陀如来の御尊前に進み、法要の趣旨（表白）と仏さまになられた故人のお名前を奉読いたしました。



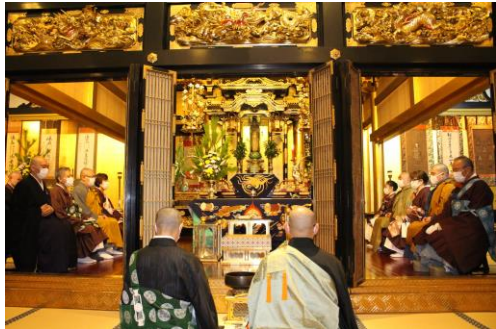
ご詠歌が堂内に響くなか、僧侶が出仕。



導師が法要の趣旨を述べ、仏さまになられた亡き方の名を読み上げました。



続いて、各宗派のお経が読まれ、今を生きるすべての人びとの安寧を願いました。



ユーチューブにて配信しました

その後、しばしの休憩を挟み、事前に送付いただいていた「亡き方に宛てたメッセージと写経」を真言宗僧侶によってお焚き上げいたしました。



亡き方へ今の気持ちを綴ったメッセージをお焚き上げしました。



多数のメッセージ・写経をご送付いただきありがとうございました。

いつかまた、皆様にお会いできる日を楽しみにしておりますので、どうか御自愛くださるようお願いいたします。

第13回法要スタッフ一同

なお、法要の様子は、事前にお申し込みいただいている方に限りユーチューブにて配信いたしました。